

広島県商工労働局補助金等審査会 環境・エネルギー産業集積促進部会 議事要旨

広島県商工労働局補助金等審査会  
環境・エネルギー産業集積促進部会

1 書類審査について

(1) 会議の概要

開催日時	令和8年5月22日(金)
開催方法	書面
出席委員	大学教授：3名、県職員：2名
議題	令和8年度 広島県環境・エネルギー産業集積促進事業補助金
担当部署	商工労働局環境・エネルギー産業課環境関連産業海外展開グループ

(2) 審査基準及び結果等

申請のあった19件を対象として書類審査を実施した。委員の評価点の平均が高い上位10件をヒアリング審査の対象事業として選考した。

	評価項目				合計	平均	選考結果	
	採択基準 (適・否)	申請者の 新規性	社会的な 意義	ビジネスモデル の妥当性				
配点	適・否	25	25	100	150	30		
申請者	A	適	25	16	64	105	21.0	ヒアリング対象
	B	適	25	20	63	108	21.6	ヒアリング対象
	C	適	25	18	62	105	21.0	ヒアリング対象
	D	否	5	14	57	76	15.2	選外
	E	否	5	17	61	83	16.6	選外
	F	適	25	16	53	94	18.8	ヒアリング対象
	G	否	25	16	52	93	18.6	選外
	H	否	25	17	45	87	17.4	選外
	I	適	25	20	78	123	24.6	ヒアリング対象
	J	適	25	15	58	98	19.6	ヒアリング対象
	K	適	25	15	59	99	19.8	ヒアリング対象
	L	否	5	18	65	88	17.6	選外
	M	否	15	14	62	91	18.2	選外
	N	適	25	15	60	100	20.0	ヒアリング対象
	O	適	25	18	61	104	20.8	ヒアリング対象
	P	否	5	17	66	88	17.6	選外
	Q	適	25	13	70	108	21.6	ヒアリング対象
R	否	5	17	60	82	16.4	選外	
S	否	25	17	47	89	17.8	選外	

委員からは次のような意見があった。(選外事業)

申請者	意見
D	前回補助事業からの進展が見られない。
E	開発のニーズが理解できなかった。
G	開発により達成できる効果がどの程度のものなのか分からない。
H	自社での開発能力に疑義がある。
L	ビジネスとしての継続性に疑義がある。
M	本補助金の目的との合致性に弱みを感じる。
P	環境・エネルギー産業の貢献が限定的である。
R	前回補助事業からの発展性が見られない。
S	課題を解決するための検討が具体的ではない。

## 2 ヒアリング審査について

### (1) 会議の概要

開催日時	令和8年6月3日(水)
開催場所	広島県庁本館 R5 会議室
開催方法	対面でのプレゼンテーション審査
出席委員	大学教授：3名、県職員：1名
議 題	令和8年度 広島県環境・エネルギー産業集積促進事業補助金
担当部署	商工労働局環境・エネルギー産業課環境関連産業海外展開グループ

### (2) 審査基準及び結果等

書類審査を通過した10件を対象としてヒアリング審査を実施した。採択基準を満たし、委員の総合点の平均が高いものから順に、予算額の範囲内で補助採択候補事業として5件を選定した。

		評価項目				評価点		加点項目	合計	採択予定	
		採択基準(適・否)	申請者の新規性	社会的な意義	事業化の実現性	開発能力	計				平均
配点	適・否	20	20	220	220	480	120	12	492		
申請者	A	適	20	14	144	142	320	80.0	4	324	○
	B	否(※)	20	16	116	135	287	71.75	8	295	
	C	否	20	17	133	136	306	76.5	0	306	
	F	否(※)	20	12	114	100	246	61.5	4	250	
	I	否(※)	20	11	134	145	310	77.5	8	318	
	J	否(※)	20	11	121	117	269	67.25	4	273	
	K	適	20	15	145	148	328	82.0	4	332	○
	N	適	20	14	140	141	314	78.75	4	318	○
	O	適	20	18	156	154	348	87.0	0	348	○
Q	適	20	14	151	156	341	85.25	8	349	○	

(※) 審査要領において選外と定める下記基準のいずれかに該当する。

- ・評価項目「社会的な意義」、「事業化の実現性」又は「開発能力」のうち、同一項目について委員2名以上が「不可」と評価した案件。
- ・評価点の平均が満点の6割(72点)に満たない案件。

委員からは次のような意見があった。

申請者	意見
A	・技術的な不透明さ、異業種からの参入の不安感はあるが、本業部門での技術力、販売力などから類推して総じて実施可能な計画と思われる。
B	・理念は理解できるが、販売に当たっての戦略が弱いので、持続的な発展が厳しい。 ・広島県への経済的波及効果が不明である。
C	・シンプルな製品であり、将来的な競合に対して策がみられない。 ・肥料としての付加価値とベトナム市場での価格設定が合えば可能性はあると考えられる。
F	・差別化・新規性が乏しいことと市場調査がこれからなので、実現性が弱い。 ・開発目標や解決すべき技術的な課題が明確ではない。
I	・テーマが環境・エネルギー産業の振興に適しているのか疑義がある。 ・他補助金との切り分けが不透明である。
J	・技術的な課題把握が十分ではなく、行政への連携もこれからであるところは課題と思われる。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独自性の技術的裏付けが薄い。</li> </ul>
K	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制御や検出系など他にも課題はあるが、一番ベースとなる勝者とそのメカニズムの解明などについての事業であり、発展が期待できる。</li> <li>・取組は有意義と思われるが、全体の工程は研究所に依存するところが大きい。</li> </ul>
N	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベトナムでの下水道事業への参入は、市場の拡大も含めて可能性がある。</li> <li>・ベトナム市場は魅力的である。また中小企業の海外展開への支援機関の活用も効果的である。</li> </ul>
O	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独自の技術を使った廃棄資源を活用した製造であり、高く評価できる。</li> <li>・廃棄物加工の海外展開は良いが、発展途上国での価格設定が難しい。</li> </ul>
Q	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康ブームに合う独自性のある提案であり、地球温暖化対策にも貢献している点で評価できる。</li> <li>・補助事業期間内での検討が可能かについて若干の疑義を感じる。</li> </ul>